

2014年9月  
1066号

# 百葉

Manyoh

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5

(一冊の会研究室)

一般財団法人尾崎行雄記念財団

## 「人生の本舞台」復刻出版記念パーティー

秋晴れの爽やかな9月27日(土)午後2時～政治の中心地である永田町の憲政記念館に於いて一般財団法人尾崎行雄記念財団「人生の本舞台」復刻出版記念パーティーが開催されました。

「人生の本舞台は常に将来に在り」

来賓挨拶の中で何度も紹介された尾崎行雄先生の信念の言葉です。はるか雲の上の存在である尾崎行雄先生の一流の言葉には、愛情と思いやり、謙虚さと力強さがみなぎっています。

尾崎行雄記念財団役員挨拶は、プラスの素晴らしい言葉が散りばめられていました。

「昨日までの仕事は全て今日以後の準備行為に過ぎない。人間たるものは、そう心得ねばならぬ」  
「不幸は幸福の基」貴重なメッセージは、世の為人の為にもっと頑張ろうと向上心が生まれます。

### 来賓挨拶

「NPO 法人 峯堂香風様」、「尾崎行雄を全国に発信する会様」の代表がそれぞれスピーチされました。遠方からお越し下さり、支えてくれる人の力、押し上げてくれる人の力に深く感謝申し上げます。

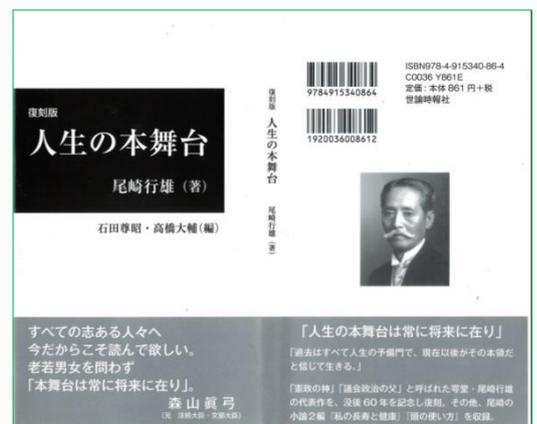
「NPO 法人一冊の会大槻会長」は人を包み込む温かい言葉で挨拶し、時に石田尊昭氏(尾崎行雄記念財団理事・事務局長)と共に本書の編者でもある高橋大輔氏(尾崎行雄記念財団研究員・峯堂塾運営委員)はあまり目立たない所にあり気がつかないのですが大槻会長はあたたかくその方をねぎらっておりました。また、一冊の会としてこの本を500人論読致します。と決意を述べられました。この言葉はずっとずっと心にこだましました。

相馬雪香先生(尾崎行雄氏の三女・一冊の会永久最高顧問)との出会いのエピソードは感動的でした。

相馬先生は、人々の行動に影響を与える力があります。

圧倒的な努力と人間性の豊かさで多くの人々の心を動かし、一人一人の未来を開きました。

田村重信様は、「人生の本舞台」の一節を通し、パワーのある言葉で勇気づけて下さいました。



祝電披露のあと、石田事務局長より

「昨日までは準備にすぎない、今日からが本舞台である、皆様はすでに出来ていると思いますので、これからは尾崎行雄の生き方・精神を広めて下さい」と明るくさわやかに挨拶されました。お土産の本にサインをして下さったり、愛のこもった細やかな配慮をして下さいました。

「あとがき——それぞれの本舞台」を書かれた高橋大輔氏（尾崎行雄記念財団研究員／罌堂塾運営委員）は、「万感込めてありがたい。」と、また相馬先生にお会いしている皆様が羨ましいと素直な気持ちを熱く語って下さいました。

第二部は懇親会。尾崎財団の萩原直三理事が、「人生の舞台は常に乾杯にあり」とユーモアセンスにあふれた乾杯の挨拶で、場を和ませて下さいました。

杉並区議会副議長に就任された大槻城一氏が駆けつけて下さり、お祝いのメッセージを下さいました。

懇親会では、気品に満ちあふれた戸田善明（公益財団法人原田積善会相談役）先生より、3つのことを教えて頂きました。

「価値ある議論を！」「人間には完璧な人はいないのでその役に一番相応しい人を選ぶ」「文章の香りを届ける」一瞬にして奮い立たせて下さる含蓄がんちくの励ましのお言葉を頂戴し、言葉の引き出しが沢山増えて、幸せな気分になりました。

本日より気持ちを引き締めて、実践して参ります。本当に有難う御座いました。



文責 一冊の会 理事 平間 幸江